

エコキャンプのマナー

これって環境にいいのかな？ “気づく”ことから始めよう！



採りすぎでない？

昆虫や植物の採取は、1つの場所からたくさん取らず、少しずつ必要なだけ採取しよう。野生動物への餌付けはもちろん×

傷つけてない？

テントなどを設置する時は、植物や土中の生物に負荷をかけていないかを考えよう。また木の幹にロープを巻きつける時は、必ず布などで幹を保護した上に巻きつけよう。

ビックリさせてない？

生態系や動物に配慮して、ランタンなどの使用は光量を必要に応じて調節しよう。夜間に自分など余計な音を出すのは×

同伴OK？

まずはペット可のキャンプ場か確認しよう。ペットの糞尿は野生動物に伝染病が感染する恐れがあるのできちんと処理しよう。

有害物質？

前に使ったものは、もちろん環境にも悪影響。日焼け止めや虫除けスプレーなどは自然にやさしいものを使う。

使い捨て？

お皿やコップ、箸やスプーンなどは持ち帰り、使い捨ての利用は控えよう。

火は大丈夫？

芝生や土中の生物を熱から守るため、ほとんどのキャンプ場が薪火厳禁。必ず専用スタンドや焚き火台の上で火を囲おう。河原でも石が真つ面に焼けるので×

環境にやさしいレジャーを！

エコキャンプに行こう!!

キャンプやバーベキューをする時、エコを意識したことがありますか？
この夏のキャンプは、ぜひエコスタイルで行きましょう！



キラキラと自然の緑が輝いて、生き物たちも元気がいい夏の川遊びにハイキング、釣りにバーベキューとアウトドアが楽しい季節です。この夏のレジャーは家族や仲間と一緒に、環境にやさしいエコなキャンプに出かけませんか？

今話題のエコキャンプは、環境や資源に配慮したキャンフスタイル。私たちが自然の中で過ごすことは、自然環境に何らかのダメージを与えてしまいがち。できるだけ自然を傷つけないように、思いやりをもつて触れあうことが、キャンプをする上での基本的なマナーです。来た時よりも美しく。

これを合言葉に、夏のキャンプを気持ちよく過ごしましょう！

キャンプへは、**エコドライブで行こう！**

運転の仕方に少し気をつけるだけで、ガソリンの使用量を減らし、CO₂の排出量も減らせます。

- 「エコドライブ普及連絡会」が推進する「**エコドライブ10のすすめ**」
- 1 ふんわりアクセル「eスタート」
「やさしい発進」を心がけよう！
 - 2 加減速の少ない運転
「車間距離は余裕を持って、交通状況に合わせた安全な定速走行」を努めよう！
 - 3 早めのアクセルオフ
「エンジンブレーキを積極的に使おう！」
 - 4 エアコンの使用を抑えよう！
「車内を冷やし過ぎないようにしよう！」
 - 5 アイドリングストップ
「無用なアイドリングをやめよう！」
 - 6 環境運転は適切に
「エンジンをかけたらずく出発しよう！」
 - 7 道路交通情報の活用
「出かける前に計画・準備をし、渋滞や道路閉塞などの情報をチェックしよう！」
 - 8 タイヤの空気圧をこまめにチェック
「タイヤの空気圧を適正に保つことで、燃費がアップ・整備が楽になります！」
 - 9 不要な荷物は積まないようにしよう！
「不要な荷物を積まないようにしよう！」
 - 10 駐車場所に注意
「波瀾などを招くことから違法駐車はやめよう！」

- キャンプでは、**エコクッキング**をしよう！
- 買い物**
食材は「地産地消」で！
できるだけその土地のものを買いましょう。容器や包装などが簡易なものを選ぶと、必要な量だけ！
食材が余ったり、食べ残しがないよう、必要な量だけを買います。
- 料理**
お米は「無洗米」で！
お米のとぎ汁はそのまま流すと水質汚染につながります。
- 食材は使いきる！**
食材はムダなく使って、野菜クズなどを少な々しましょ。
- 「火」のムダをなくす！**
早めに「つけたりつけはなし」はやめよう。余熱を使って「アルミ」の削減を！
- 片付け**
洗う前に、拭く！
食後の食器はまず新聞紙で拭き、汚れがほとんど取れた状態にしてから洗います。
- 洗剤もエコで！**
合成洗剤は使用せず、石けん洗剤や重曹など自然にかさるものを使いましょう。